

香港での打合を午前中に終えた。

当日夕刻のマニラ行便の出発までには時間がある。

そこで、ビクトリア・ピークまで久々に脚を伸ばしてみることにした。

ビクトリア・ピークといえば、ビクトリア・ハーバーに映える香港島、九龍半島の100万ドルの夜景を眼下に臨み、その眺望を心ゆくまで楽しむ場所である。

昼間の、それも霧がかかっていそうな天気の中では、あまり気が進まなかったことはある。

しかし、この機を逸すと一生行けないかもしれない、と決心した。(ちょっと大袈裟ではあるが)

そこで、山頂にたどり着き、撮影したのがこの景色。

やはり、遠くは霞んで視界はよくない。

それでも海から突きあがるような超高層ビル群は誰がみても香港そのものである。

そこに、これも香港名物ビクトリア・ピーク登山のケーブルカー、ピーク・トラムがゴトゴトと登ってきた。

これだけ揃えば、来た甲斐があった、というもの。

ビクトリア・ピークの標高は552メートル。でも一般観光客が訪れるのはレストラン、ギャラリー、土産物店などが入るピークタワーとその周辺であり、その標高は396メートル。この写真も、ここからの展望である。

ピーク・トラムの山頂駅は、この真下にあり、ワイヤーロープが揺れながら車体を引っ張っているのが見える。

今回は、車での上下山であった。

でも、ビクトリア・ピークに行くなら、やはりこれである。

斜度は30度近くあるから半端ではない。進行方向に向かう座席には自分の体重がずっしりのしかかり、車窓から見るビル群が斜めに建って見えるから面白い。

でも、これも記憶が薄くなってきた。次のビクトリア・ピークは、晴れた夜にピーク・トラムに乗って行こう。

